総合教養(ATLAS) 07
＊ 取材等に基づき BUCHO.NET が独自に作成した問題です。
＊ (This is NOT the actual test.)

No.000001

受験番号					

総合教養(ATLAS)

問題冊子

指示

係りの指示があるまでは絶対に中を開けないこと

1. この試験は、講義を聴き、資料を読んで、あなたがその内容をどの程度理解し、分析し、また総合的に判断することができるかを調べるためのものです。
2. PART I,II,III,IV の 4 つがあります。
3. この冊子は 40 の問い(1-40)があります。解答カードには表裏あわせて 100 の解答欄がありますが、41 以降は使用しないでください。
4. 解答のための時間は、放送時間を含め、正味 **80 分**です。
5. **放送が終了するまで、問題冊子を見ることはできません。**
6. 解答のしかたは、問題の前に指示してあります。答えが指示どおりでないと、正解でも無効になります。
7. 答えはすべて、**解答カード**の定められたわくの中に**鉛筆**を用いて書いてください。それ以外のところに書いたり、また答え以外のものをかきこんだりすると無効になります。
8. 一度書いた答えを訂正するには、消しゴムで**きれいに消してから**、あらためて正しい答えを定められたとおりに、はっきり書いてください。
9. メモには**この問題冊子の余白**を用い、ほかの紙は使用しないでください。
10. 「考査やめ」の合図があったら、ただちにやめてください。試験監督が問題冊子と解答カードを集め終わるまでは、退室できません。

この指示について質問があるときは、試験監督に聞いてください。ただし問題の内容に関する質問はいっさい受けません。

「受験番号」を解答用カードの定められたところに忘れずに書きいれること

©BUCHO.NET

Part I

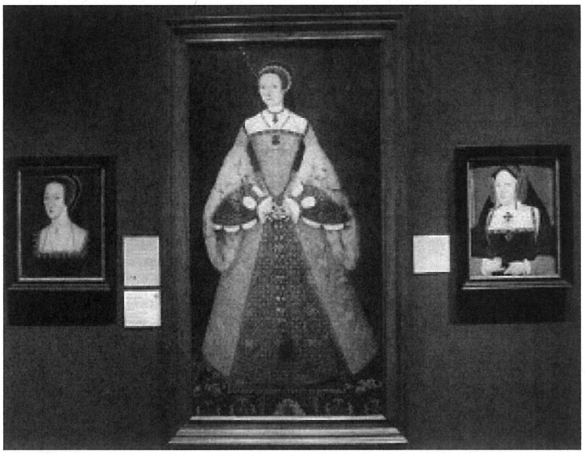
講義内容を踏まえ、以下の設問に答えなさい。

01. 講義に登場する美術館の作品として適切と考えられるものはどれか。

a.

b.

c.



d.

http://icu.bucho.net

02. 講義によると、産業大国以前のイギリスの状況は
a. 酪農は盛んだが、冬期しか晴れ間がなく農産物の生産には限界があった
b. ヨーロッパの中では中堅国にすぎなかった
c. 日本の人口と同じくらいの人々が住んでいた
d. 香辛料貿易を行っていた

03. チューダー朝のイギリスは、主としてどの国から借金をしていたと講義では示唆されているか。
a. スペイン
b. オランダ
c. アメリカ
d. フランス

04. 講義でのイギリスにおける海賊の「正当な」呼称として不適切なものはどれか。
a. navigator
b. sea dog
c. privateer
d. viking

05. 講義において、イギリスが産業革命の資金としたものとして、述べられていないものはどれか。
a. 海賊行為によって得た資金
b. 奴隷貿易の利益
c. 戦争の賠償金
d. コーヒーの貿易

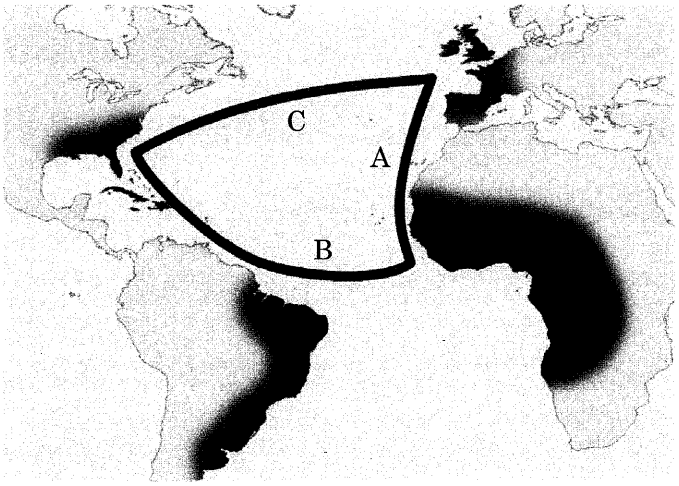
06.　17 世紀から 18 世紀頃、イギリスなどは海流を利用した大西洋での三角貿易を行っていたが、下図の A、B、C において運ばれた商品はそれぞれ何か。講義をヒントに答えよ。

a. A：武器：：B：奴隷：：C：砂糖

b. A：工業製品：：B：コーヒー：：C：スパイス

c. A：繊維製品：：B：砂糖：：C：奴隷

d. A：繊維製品：：B：綿花：：C：砂糖



07.　ネルソン提督らによって、イギリスがフランス・スペインの連合艦隊を破った海戦の名称は何か。講義の内容もヒントとして考えよ。

a. トラファルガー海戦

b. アルマダの海戦

c. レパントの海戦

d. ユトランド沖海戦

08.　講義は映画パイレーツ・オブ・カリビアンに触れているが、その内容に関して、フィクションではなく内容的正しいと講義者が捉えると思われる内容はどれか。

a. 16 世紀の海賊の時代を描いている

b. 海賊を英雄視している

c. 孤高の海賊船が活躍している

d. 外輪船が登場している

09. 講義では日本でも銀の採掘が行われていたことが示されている。日本最大級の銀山で、世界遺産にも登録されている著名な銀山はどれか。

a. 石見銀山
b. 院内銀山
c. 佐渡銀山
d. 生野銀山

10. 講義によると、当時のイギリスにおける「シュガー」の役割を表す表現として適切なものはどれか。

a. 献上品
b. 医薬品
c. 嗜好品
d. 衛生品

Part II

次の論述を読んで、以下の設問に答えなさい。

歴史上、海賊行為がとくに活発的であった時代を、海賊の黄金時代といいます。その始期と終期については諸説あるものの、少なくとも 18 世紀初めころの約 30 年間は、大西洋を舞台とする者たちにとって、支配者は海賊であり、海軍ではありませんでした。海賊たちの戦闘力と航海術は、各国の海軍を恐怖で震え上がらせるほどだったといわれています。それでは海賊が海の支配者だった時代とは、一体どのような時代だったのでしょうか。大航海時代以降、ヨーロッパの人々によって開発の手が加えられたカリブ海の島々と北アメリカの大西洋沿岸地域は、18 世紀にはヨーロッパ経済にとって不可欠の存在となっていました。黒人奴隷を労働力としたプランテーションによる砂糖やタバコ、インディゴなどの植民地物産は、ヨーロッパの人々の生活を豊かにしただけでなく、莫大な富を生み出す源泉となっていたのです。スペインとポルトガルが始めた南北アメリカ大陸への侵略は、次第にイギリスとフランスが侵略の主役の時代へと移っていきます。この過程でヨーロッパ各国は、植民地経済の支配と貿易独占をめぐり、熾烈な争いを繰り広げました。そして戦闘の主な舞台となったのが、陸上ではなく、海上だったのです。海上戦の中心は、言うまでもなく、「船」です。しかし多くの場合、軍艦と軍艦が大砲を打ち放し、海兵が乗船して一騎打ちを繰り広げるというものではありません。船は船でも軍艦ではなく、「海賊船」が主力となっていたのです。それゆえ、誤解をおそれず言うと、「だまし討ち」と「略奪」こそが、海上戦での勝利をもたらす作戦だったのです。ただし、この時代、略奪などの海賊

行為を行っても罪には問われず、「合法」と判断される船がありました。それが「私掠船(しりゃくせん)」と呼ばれるものです。船、船長、船員すべてが「海賊」に属するものであっても、否、海賊そのものであっても、名前を変えるだけで「違法」から「合法」に、「有罪」から「無罪」になっていたのでした。正々堂々や騎士道精神などの言葉がむなしく聞こえてくる作戦ばかりです。裏を返せば、大航海時代以降のヨーロッパにとって、カリブ海やアメリカ大陸は、そうまでしてでも手に入れたい、魅力あふれる大地だったといえるでしょう。私掠船とは、国の政府などが、交戦国の船、とくに商船を攻撃していいという「私掠免許状」を与えた、個人所有の船と定義されます。広義の定義によれば、政府、王室などの無言の許可ないしは正式の免許状を持ち、敵国ないしはそれに準ずる国の船を攻撃する、個人の船とされています。これに対して海賊船とは、高官や王のうしろだてもなければ免許状も持たない略奪専門の船で、交戦国の船であろうとなかろうと、ときには自国の船までも襲撃する略奪者となります。ですから、捕まれば、犯罪者として裁きを受けて何らかの刑一多くの場合、処刑でした一を与えられることになります。時の権力者の都合で、「英雄」になったり、「悪漢」になったりしていたのが、海賊たちだったのです。

このように英雄なのか悪漢なのか、その評価は時代に大きく左右されますが、海賊は常に前線で活動していたことから、海上戦ということで言えば、正規軍である各国海軍より圧倒的に優れていたことは間違いありません。もっとも、高い戦闘力と経験豊富な兵士ーしかも海軍の 2 倍から 3 倍ーが揃えば、政府や王室の免許状など不要です。自分たちを裁ける者などいないのですから。こうして、海だけでなく、陸においても海賊が支配する社会を誕生させることになるのでした。それがバハマ諸島の主島であり、もともと無人島であったニュープロヴィデンス島に建国された、海賊共和国と呼ばれるものです。ニュープロヴィデンス島の港は数百隻の船舶を収容できるほど広いにもかかわらず、水深が浅かったために、軍艦の入港は不可能でした。それゆえ、海賊などの無法者にとってこの島は、安息の地になっていたのでした。共和国の総督となったのは、イギリスの海賊首領トマス・バロウとベンジャミン・ホーニゴールドでした。彼らのもとには名だたる海賊をはじめ、私掠船の元乗船員や無法者たちが集まっていきました。そして、この共和国に属しており、ホーニゴールド率いる海賊船団のもとで頭角を現し、のちに船団をまかされることになるのが、エドワード・ティーチこと「黒ひげ」でした。黒ひげはホーニゴールドの指揮する海賊船「レンジャー号」での働きを認められ、掌捕したスループ船の船長に任命されます。1716 年末のことでした。後に黒ひげはホーニゴールドと別れ、北アメリカと西インド諸島を結ぶ航路を中心に荒らしまわり、イギリス海軍をはじめ、いくつもの戦いで勝利をおさめてカリブ海地域で最も有名な海賊となっていくことになります。

一方、黒ひげと別れてニュープロヴィデンス島に戻ったホーニゴールドは、突如、海賊業を廃業します。植民地総督ロジャーズ船長が到着するや、国王ジョージ 1 世の海賊赦免の布告に従って投降したのです。しかも、ロジャーズの右腕として、海賊狩りに転身します。この結果、海賊共和国は間もなく終焉を迎え、多くの海賊が恩赦を求めて投降し始め

数少ない安息の地であったニュープロ[illegible]島を[illegible]た黒ひげが、次に目を付けたのは、大西洋沿岸部にあるノースカロライ[illegible]。18 世紀の大西洋岸植民地は[illegible]ス[illegible]パ大陸、カリブ海諸島、アフリカを結ぶ貿易に深く組み込まれて[illegible]ノ[illegible]ナでも、米やインディゴなどの換金作物を生産していましたが、[illegible]地は[illegible]をあげていませんでした。それは[illegible]植民地が次第に密輸や海賊との交易を禁止し始めていたにもかかわらず、ノ[illegible]ナは[illegible]黒ひげの船団を歓迎したのでした。ノースカロ[illegible]イナの[illegible]ャ[illegible]ス・イ[illegible]民地総督と黒ひげは随分と懇[illegible]あったよ[illegible]げが 14 人目の妻となる 16 歳の娘と結婚したときには[illegible]総督自ら[illegible]の代わ[illegible]式を[illegible]り行いました。植民地総督やその秘書官と黒ひげは、掌捕し[illegible]船の積荷を[illegible]ほどになります。たとえば、バ[illegible]近で遭遇したフランス船籍から奪った砂糖とココアは、総督が 60 尊、秘書官[illegible]取っています。こうして行政側と良好な関係を築いた黒ひげは、以前よりずっ[illegible]拠点を確保することができたのでした。こ[illegible]況下で最も被害を受けていたのが、ヴァージニアでした。業を煮やしたスポッ[illegible]民地総督は、「海賊の逮捕もしくは殺害に対して授与される褒章に関する布告」[illegible]す。ついに黒ひげは賞金首とな[illegible]た。黒ひげの首にかけられた額は 100 ポンドでした。

黒ひげ討伐隊を率いたのは、ロバート・メイナード大尉でし[illegible]経験豊富な士官で、勇気と決断力に評判の[illegible]した。1718 年 11 月 17 日、メイナード大尉の部隊はヴァージニア植民地のジ[illegible]キクタンを出発、21 日夕刻に黒ひげ海賊団がいるオクラホーク入江に到着しま[illegible]日早朝、大決戦の火ぶたが切られ[illegible]賊の数的優位にもかかわらず、激しい肉弾戦はメイナード側の勝利に終わりま[illegible]げは大尉の部下から首と喉(のど)に加えられた一撃が致[illegible]傷になったのです。黒[illegible]をさっかけに、大西洋の海の歴史は新たな[illegible]ことになるのでした。黒ひげが最後の戦いで敗れて以降、海賊の黄金[illegible]代は終[illegible]す。「海の無法者」たちは歴史の表舞台から次第に姿を消していくことになりま[illegible]とも、黒人奴隷となって「売買の[illegible]れたアフリカの多くの人たちや、カリブ海をはじめ白人入植者たちに土地を[illegible]人たち[illegible]っては、海賊が消えたからと言って何一つ変わったわけではありま[illegible]賊と遭遇する危険が減少し、安全が確保さ[illegible]大海賊時代から商船という名の「法による保護を受けた者たち」によ[illegible]略奪者[illegible]ただけなのかもしれません。

http://icu[illegible]

[illegible]掠船と海賊船の違いを答えよ。
a. 私掠船と海賊船では、構[illegible]員が異な[illegible]
b. 私掠船は個人[illegible]有だ[illegible]、海賊船は団体[illegible]う。
c. [illegible]合の武装船だが、海賊船は非正規の武装選である。
d. [illegible]らかの許可を得ているが、海賊船は無許可である。

12. 文章から読み取れ[illegible]商船の役割は何か。
a. 奴隷の[illegible]
b. 正規[illegible]
c. [illegible]の合[illegible]
d. 権力者の船

13. 本文より[illegible]して正しいと思われる記述を選べ。
a. 長年に渡って[illegible]の海賊首領として活躍した
b. 正規の軍隊を凌ぐ力を有していた
c. 肉弾戦など集団で戦うことを得[illegible]としていた
d. 植民地の農場経営[illegible]得て[illegible]

14. 最終的に黒ヒゲを打ち破ったのはどこか。
a. イギリス海軍
b. ヴァージニア州政府軍
c. ノースカロライ[illegible]州政府[illegible]
d. フランス海軍

[illegible]講義と本文とを通して、
a. 全般に海賊に対して批[illegible]的であ[illegible]
b. 同時代の海賊に関して述べられ[illegible]
c. [illegible]歴史的重要性が述べられている。
d. [illegible]残虐さがおさえられている。

[illegible]義と本文との相違点は、
a. 講義では主として私掠船に焦点が当[illegible]が、本文は海賊船に注目している。
b. 講義と本文とでは、注目している海域が[illegible]。
c. [illegible]の政治性に触れているが、本文では経済性に言及している。
d. [illegible]フリカや南米の現地の人達に注目しているが、本文は船員に注目[illegible]。

17. 講義と本文とを通して読み取れるのは、
a. 次第に[illegible]な資本を持つようになったこと。
b. 国家[illegible]係は一定ではなかったこと。
c. [illegible]リフ[illegible]な地域であったこと。
d. イギリスが海洋先進国であったこと。

18. [illegible]義と本[illegible]も予想され得ることは、
a. 海賊の[illegible]、搾取されるヨーロッパの人々の[illegible]響はなかった。
b. 海賊と正規軍の船員との境界は、時に曖昧であった。
c. ヨーロッパの侵略と海賊行為に[illegible]、その[illegible]族[illegible]が関係して[illegible]。
d. 航海術の発達によ[illegible]に食料が安定的に供給されるようになった。

19. [illegible]対象となっている 18 世紀のイギリスでは、冒険小説[illegible]船乗りとなっ[illegible]主人公の無人島での生活を描いたダニエル・デフォーの小説は[illegible]。
a. マクベス
b. 失楽園
c. ロビンソン・クルーソー
d. カンタベリー物語

20. 本文における「無法者」の意[illegible]いものはどれか。
a. 国際社会における略奪者
b. [illegible]カや南米の土地や人々を蹂躙する略奪者
c. [illegible]る保護を受けた略奪者
d. [illegible]権力者の庇護を受けない略奪者

SAMPLE

次の論述を読んで[illegible]以下の設問に答えなさ[illegible]

[illegible]海賊」とは、ヨーロッパによって「バルバリア諸領」[illegible]ばれた[illegible]帝国[illegible]領、チュニス領、トリポリ領によ[illegible]行為を指す。それらの地域は名目的にはオスマン帝国の一部ではあったが、実[illegible]ある[illegible]はベイと呼ばれる地元の支配者によって統治さ[illegible]オス[illegible]国からは自[illegible]い政体であった。なお、「バルバリア海賊[illegible]奪の対象となっていたのは、「バルバリア諸領」と条約[illegible]締結して[illegible]ナポリ[illegible]ニーなど数カ国に限られていたが[illegible]19 世紀初頭当時、捕らえられ[illegible]いたヨーロ[illegible]合計で 3,000 人余りを数えた。

18 世紀までのヨーロッパに[illegible]って[illegible]バル[illegible]ア海賊[illegible]すべき行為ではあっても必ずしも不正な行[illegible]されていなかった。それまでヨーロッパ諸国は地中海[illegible]航行する自国[illegible]の安全[illegible]ために「バルバリア諸領」と和平条約を結び、海軍力で劣るヨーロッパ[illegible]小国[illegible]リア諸領」に対して定期的な貢[illegible]た。18 世紀までのヨーロッパは「バルバリア海賊」を積極的に肯定しないま[illegible]存在を消極的に対処してきたのである。いうなれば、ヨー[illegible]ッパ諸国と「バルバリ[illegible]との間には、条約や貢納と引き替えに安全[illegible]ある種の共存関係が成り立っていたというのが、18 世紀まで[illegible]国際関[illegible]る。ただし、こうした共存関係は 19 世紀初頭に劇的に[illegible]化する。その背[illegible]には[illegible]ロッパで、生じた「バルバリア海[illegible]る以下のような認識[illegible]化が指摘できよう。

第一は、黒人奴隷貿易廃止[illegible]徴される博愛主義の高まりである。18 世紀後半からイギリスのクエー[illegible]一教徒[illegible]貿易廃止運動が盛んになり、1787 年にロンドンで奴隷貿易廃止協会が結成され[illegible]にはイギリス議会で奴隷貿易廃[illegible]れる。[illegible]ーン会議においても、1815 年 2 月にイギリスの働きかけによって[illegible]の世[illegible]止に関する 8 カ国（オーストリア、フラン[illegible]イギリス[illegible]ルトガル[illegible]シア、ロ[illegible]、スペイン、スウェーデン）[illegible]議され[illegible]たヨーロッパ各国でも、オランダが 1814 年に、フランス[illegible]1815[illegible]ンとポルトガルが 1817 年に奴隷貿易の廃止や制限を宣言するなど、19[illegible]紀初[illegible]世界的に黒人奴隷貿易は廃止へと[illegible]隷貿易廃止の背景には、ヨーロッパの産業構造の転換に伴う経済的[illegible]方で奴隷貿易の非人道性・反文明性を訴え[illegible]キリ[illegible]ト教的あるいは[illegible]愛[illegible]の推進力となったことも事実で[illegible]バル[illegible]ア海賊」問題では、捕らえられていたのがヨーロッパのキリス[illegible]教徒で[illegible]貿易廃止の問題以上に共感が広がりやすかったものと考えられる。

[illegible]は、海上における自由航行問題と[illegible]発達である。海洋の排他的領有に対する反論はすでに 17 世紀初頭の「(1)」の[illegible]によって展開されていたが、18 世紀にはいると領海と公海との海洋の分化が進[illegible]海における個別領有権と公海に[illegible]由[illegible]が発達していった。公海においては外国船舶に対する排他的管轄[illegible]る[illegible]、航行を妨げてはならないとされる。なお、公海自由の原則は自[illegible]原則[illegible]合っている。ヨーロッパ列強が重[illegible]から自由貿易政策に転換していく 19 世紀初頭において、公海の安全を脅かす[illegible]由な商業活動を妨げる敵対的な存在として浮かび上がることとなった。

第三は[illegible]も関連するが、私戦や掠奪に関する意識の変化である。中・近世ヨーロッパ[illegible]戦時に捕虜を奴隷とすることや[illegible](捕獲)することは必ずしも不正なこととはされておらず、敵国商船への掠奪[illegible]は広く認められていた。私戦や掠奪が非合法な行為として認識されるようになった[illegible]、主権国家が一元的かつ規律的に軍事力を[illegible]うになった近代においてである。ただし、その後もヨーロッパ諸国やアメリカ[illegible]て戦時には商業破壊戦は行われたが、条約未締結国の船舶や住民を恒常的に襲[illegible]バリア海賊」は、戦争行為ではな[illegible]海賊行為として認識された。なお、18 世紀までは、マルタの騎士団による「バ[illegible]頭」への私掠行為もしばしば行われており、地中海における私掠行為は日常的で[illegible]

近代ヨーロッパに[illegible]義の高まり、公海概念の発達、私掠の禁止などにより、海賊行為に対する認識[illegible]「バルバリア海賊」は近代ヨーロ[illegible]て容認できない行為となっていく。その後、「バルバリア海賊」問題は、近代ヨ[illegible]認識変化を背景[illegible]メリカとイギリスの軍事行動を経て、「ヨーロッパ協調」の[illegible]することとなった。近代ヨーロッパの認識[illegible]事的優位の確立、ヨーロッパ諸列強の協調という三つの要因が重なったことで[illegible]ア海賊」問題は急速に進展していく。

しかし、ヨーロッパ列強が同盟を形成して軍事行動をとるということ[illegible]。ただ[illegible]れは、18 世紀までの国際関係へと逆戻りし、ヨーロッパが「バルバリ[illegible]」を容認するということで、はなかった。[illegible]列強が同盟を形成しなかった主な理由は、「バルバリア海賊」の活動がすでに沈[illegible]からである。そして「バルバリア海賊」は、1830 年に、軍事的あるいは外交的[illegible]、最終的にその幕を閉じること[illegible]同年 7 月のフランスによるアルジェ侵攻と植民地支配の開始によっ[illegible]月のフランスとの条約で海賊行為の放棄を記すことで、「バルバ[illegible]賊」[illegible]る。ここに至って「バルバリア[illegible]在も、ヨーロッパ諸国が「バルバリア海賊」を容認するような態度も[illegible]いずれ[illegible]れ、国際関係における「文明化」が達成されたのである。「バルバリア海賊」の[illegible]博愛主義や自由な商業活動や私掠[illegible]

http://icu.[illegible]

[illegible]と近代ヨーロッパの価値観に基づ[illegible]が実現した一例である。言い換えれば、それまでの慣習や条約を遵守するか否か[illegible]／「不正」概念ではなく、近代ヨーロッパの価値観に基づいた「正」／「不正」[illegible]国際関係の場で適用され、正[illegible]たの[illegible]

そ[illegible]力に基づいた砲艦外交ともいえる[illegible]てではあったが、ともかくここにおいて、近代ヨーロッパの価値観は国際関係[illegible]当性をもった普遍的な規範となった。まとめれば、「バルバリア海賊」の終焉の[illegible]国際関係において従来の枠組[illegible]取り壊し[illegible]組みを作り出す過程であった。その動因となったのは、ヨーロッ[illegible]善悪二元[illegible]に基づいて「バルバリア海賊」を不正なものとみなし、近代ヨーロ[illegible]パの価値観[illegible]る国際関係を新たに実現しようと[illegible]あった。19 世紀初頭に生じた国際関係の西洋化は、近代ヨーロッパが善悪二[illegible]に基づき、悪を追放し、善を広めるという態度をとっ[illegible]から生じたのであ[illegible]に、近代ヨーロッパの価値観に基づく国際[illegible]したからこそ、近代ヨーロッパの善悪二元論的世界観が正当化され、規範と[illegible]たのである。すなわち、近代ヨーロッパの善悪二元論的世界観と国際関係の西[illegible]一体となって深化する一対をな[illegible]うのが、「バルバリア海賊」の終焉過程の検討から得た本稿の帰結である。

問1. 本文における「商[illegible]」と「海賊行為」との違いは何か

a. 略奪時の時代背景の違い

b. 国家同士の戦争であるか否か

c. 残虐性の有無

d. 戦争下における軍事作戦[illegible]

問2.「(1)」に入る人物の名前を答えよ

a. ロック

b. グロティウス

c. ホッブス

d. ベリ[illegible]

[illegible]隷貿易が廃止された産業構造の[illegible]済的要因として、正しいと考えられるものはどれか。

a. 奴隷貿易の需[illegible]関係が変化し、相場が[illegible]ため

b. [illegible]に要する費用の高まりから、コスト的に見合わなくなったから

c. [illegible]利益を得たアフリカや南米の国家が経済的に力を付けたから

d. [illegible]賃金労働者が消費者となり、生産[illegible]するという産業構造が拡大したから

[illegible]本[illegible]ける重商主義とは

a. 国家の[illegible]によって有利な貿易差額を取得[illegible]増大させようとする考え方

b. 商工業を盛んにすることが国富の基礎であるとし[illegible]

c. 国家主権を国境外の領域[illegible]々に対して行[illegible]使する政[illegible]、それを正当化して推し進める思考

d. 特[illegible]の生産[illegible]する経済構造

[illegible]放送と Part II で説明されている黒ヒゲらのカリブの海賊[illegible]と Part III のバルバリア海賊との関係において共[illegible]こと[illegible]は何か。

a. 19 世紀にはほとん[illegible]停止した

b. それぞれの海賊団の[illegible]自体は広く容認されていた

c. ヨーロッパ人を標的としていた

d. ヨーロッパの植民地支配が始まった事によって活動が停滞した

26. 以下を年代順に並べると[illegible]順番はどれか。

（イ）エリザベス一世女王の即位

（ロ）ロバート・メイナードの黒ヒゲ討伐

（ハ）ジョージ１世国王の即位

（ニ）アメリカ大陸に砂[illegible]が伝わ[illegible]

a. （イ）（ロ）（ニ）（ハ）

[illegible]（イ）（ハ）（ロ）

[illegible]（ハ）（イ）（ロ）

[illegible]（ロ）（イ）（ハ）

[illegible]義やPart IIIの本文を踏まえると、[illegible]ギリスにおいて正当化されていたのはいつ頃考えられるか。

a. 15世紀頃から19世紀頃
b. [illegible]から18世紀頃
c. [illegible]から17世紀頃
d. [illegible]から16世紀頃

28. Par[illegible]IIIの本文を踏まえると、両者に共通する、「海賊の黄金時代」の[illegible]としてと[illegible]のも[illegible]

a. 海賊が[illegible]として活動を行った時代
b. ヨーロッパ出身の海賊だけではなく、イスラムの[illegible]た時代
c. 海賊が国家の制約を受けず拠点を置けた時代
d. 海賊に対抗[illegible]軍が編成された時代

2[illegible]Part IIの黒ヒゲが活躍していた頃（イ）、及び、Part[illegible]178[illegible]にロンドン[illegible]奴隷貿易廃止協会が結成された時期（ロ）に[illegible]江戸時代[illegible]おいて政治改革が行われていた。正しい組み[illegible]選べ。

a. （イ）寛[illegible]の改革[illegible]改革
b. （イ）享保の改革[illegible]の改革
c. （イ）天保の改革（ロ）享保の改革
d. （イ）享保の改革（ロ）天保の改革

30. [illegible]領海と公海との海洋[illegible]関して、現在では排他的経済水域[illegible]られて[illegible]。

[illegible]（イ）[illegible]排他的経済水域（ロ）はそれぞれ[illegible]海里か。

[illegible]（イ）14海里（ロ）150海里
b. （イ）24海里（ロ）[illegible]0海里
c. （イ）12[illegible]海里（ロ）[illegible]00海里
[illegible]30海里（ロ）[illegible]00海里

[illegible]rt II の黒ヒゲが活躍していた頃[illegible]Part III で述べられている、1787 年にロンドンで奴隷貿易廃止協会が結成さ[illegible]ロ）[illegible]は、江戸時代の日本おいて政治改革が行われていた。正しい組み合わせを[illegible]

a. [illegible]の改革（ロ）享保の改革

b. [illegible]の改革（ロ）寛政の改革

c. [illegible]保の改革（ロ）享保の改革

d. （イ）享保の改革（ロ）天保の[illegible]革

[illegible]「領[illegible]の海洋二分化」に関して、現在では排他的経済水域も広く認められ[illegible]いる[illegible]

公海（イ）と排他的経済水域（ロ）はそれぞれ何海里[illegible]

a. （イ）14 海里（ロ）150 海里

b. （イ）24 海[illegible]0 海里

c. （[illegible]）12 海[illegible]海里

d. （[illegible]）[illegible]0 海里[illegible]50 海里

PART IV

大航海時代の始まった頃[illegible]には未発達の初期段階だったとは[illegible]海用羅針盤があり、羅針盤のコンパス・ローズが示す 16 方位、さらには 32 方[illegible]るボルトラーノ海図も考案されていた。陸岸に近い海域における航海者は、ランドマーク(陸標)、レッド・ライン(測深索)およびロ[illegible]いうそれぞれの英語名の頭文字を取った 3L を沿岸航海の 3 原則とし[illegible]安全航[illegible]した。ランド・マークの L はルックアウト(見張り)の L としてもよい。また測[illegible]距離を測定することで、これを[illegible]は、航[illegible]中、船首付近の所定位置から投げ込んだ木片が舷側沿いに海面を流れ[illegible]の所定[illegible]を通過するまでの時間を測定することによって船の速力を推定した[illegible]る。コロンブスは最初の航海に先立ち、舷[illegible]流れ去る海面の泡や浮遊物と並んで甲板を歩くことにより船の速力を体感で推[illegible]手を予め陸上で訓練したという。

16 世紀後半にイギリス船が使い[illegible]グ・ライン(測程索)は、リールに巻[illegible]端に取り付けた測程板を船尾から海中に流し、砂時計で計る特定時[illegible]長さから速力を推定する道具で、後年の機械的な測程装置に対して[illegible]測程具)と称した。ログ・ライン[illegible]して結び目(ノッ[illegible])を作ったヤーンが付いているので、その結び目の数[illegible]より速[illegible]ことからノットという速力単位ができた。イギリス船がハンド・ログを使うよ[illegible]もオランダ船は相変わらず木片[illegible]

[illegible]ので、それをイギリス船員はダッ[illegible]ロク[illegible]いうよ[illegible]になった。

陸上物標の見える沿岸航海では船位の測[illegible]較的容易であるが、陸上物標の[illegible]外海[illegible]地点から[illegible]の航跡を辿ることによって船位を推定するしかない。コ[illegible]航[illegible]ったように、また今でもそうであるように、航海当直は4時間を[illegible]して[illegible]。時間を30分用砂時計で計った[illegible]者は30分毎に針路と船の速力をトラバース・ボード(連針路盤)に記録し、[illegible]時[illegible]果を数字に直して筆記した航海士が当直交代後、船長に報告し、その後に船長[illegible]の航跡を計算して船位を決定[illegible]航海日誌[illegible]。トラバース・ボードは文字を書けない船乗りに針路と速力を記[illegible]るため[illegible]、その仕組みは次の通りだった。すなわちトラバース・ボ[illegible]ドは32位を示す[illegible]ローズのある円形板とその下に縦[illegible]縞[illegible]段の格子縞を描いた長方形板を組み合わせて一体にしたもの[illegible]ある。コ[illegible]ズの各方位にはそれぞれ中心から外端まで等分の間隔[illegible]穴が[illegible]個あり、中心に[illegible]釘を結び付けた紐8本があり、また長方形[illegible]を中央で左右に[illegible]分してそれぞれ左上隅に釘を結び付[illegible]た紐4本ずつ[illegible]固定し[illegible]各交点に釘穴を空けてあった。航海当直開始時から30[illegible]毎に、コンパス[illegible]ロー[illegible]から外端に向かって順次、針路方[illegible]を穴へ挿し、[illegible]は左上から下方へ順次、速力(ノット)相当個所に釘を挿し[illegible]毎にこれを見て確認[illegible]た航海士が筆記した後、釘を全部引き抜[illegible]て[illegible]したの[illegible]トラバース・ボードはやがて石板に石墨で[illegible]グ[illegible]となり、最終的には日記形式のデッキ・ログ[illegible]板日誌)を経[illegible]ログ・[illegible]日誌)に移行した。

船の[illegible]置は緯度と経度によって正確に示され、緯度は北極星の[illegible]南中[illegible]太陽高度から比較的容易に算出できた。しか[illegible]経度の決定[illegible]難しかった[illegible]ある船で観測した月と特定の星または太陽[illegible]距離が、基準となる陸上の観測地点における月と特定の星または太陽[illegible]間の角[illegible]る場合、その船の観測時間と基準地点との間の時間差か[illegible]両地点の[illegible]離を[illegible]る月距法はあったが、天体観測を[illegible]に行い[illegible]用意され[illegible]基準地点の天体角距離表を参照して算出するのに手間[illegible]く、[illegible]の観測器具による船上での観測そのものが不正確で[illegible]にならなかった[illegible]大航海時代の天体観測器具には[illegible]の使用した器具を航海用に簡略化したアストロラーベ(全円儀)、クォ[illegible]ドラン[illegible]クロススタッフ(ヤコブの杖)、バックスタッフ、デーヴィ[illegible]・クォ[illegible]ドラントな[illegible]、最終的には1757年にセクスタ[illegible]た。アストロラーベ、クォードラント、クロススタッフは揺れ[illegible]船[illegible]た太陽を直視する欠点があった。16世紀末[illegible]太陽の直視を避けるた[illegible]ス[illegible]を改良したバックスタッフがで[illegible]世紀初めにはさらに改良したデーヴィス・クォードラントとなり、そ[illegible]原理に[illegible]タント[illegible]に応用された。どちらもイギリスの航海者ジョン[illegible]デーヴィス[illegible]考案であ[illegible]

SAMPLE

正確な経度測定法または測定器の発明[illegible]の賞金をかけてイギリスとフランスの両政府が 1714 年[illegible]とんど同時に発表した。[illegible]者はイギリスのジョン・ハリソン先[illegible]クメーター(経緯儀)を発明したことにより、正確な時間差による経[illegible]能[illegible]ロノメーターの名はギリシャ神話の時の神クロノスに[illegible]ている。[illegible]らク[illegible]ター製作に着手したハリソンは、[illegible]、37 年 2 号、57 年 3 号、61 年 4 号と改良を重ね、重量 33kg の 1 [illegible]機を 4 号[illegible]風外[illegible]の重量 1.4kg、直径 13cm という時計に仕上げた。[illegible]螺子[illegible]一[illegible]巻くと 3[illegible]動するので、毎日定時に螺子[illegible]けばよか[illegible]ソンは 3 号に賞[illegible]2 万ポンドを獲得したが、キャプテ[illegible]クック[illegible]75 年[illegible]の航海に携行したのは時計師ケンド[illegible]がハリソンのクロノメーク[illegible]を複製し[illegible]る。こうして大航海時代も終末[illegible]新しく経度と経度による船位決定が可能になった。ただしイギリスだけでなく国[illegible]子午線が承認されたのは 1884 年の世界子午線会議においてであり、フランスに[illegible]だけが 1911 年であった。

3[illegible]本文の一部で船に速力に関して論じられているが、古[illegible]運航に河川を中心に行われていた。ある川の A 地点と B [illegible]点は 8km 離れている。[illegible]地点を、船を使って、上りは時速 6km、下[illegible]m で往復した。往復には何時間かかったか。

a. 8 時間
b. 10 時間
c. 12 時間
d. 14 時間

32. [illegible]と光に関連[illegible]以[illegible]関係を完成させよ。
[illegible]青い空：[illegible]夕日：散乱)：：(海に潜ると周りが青く見える：イ[illegible]ロ[illegible]

[illegible]. 海からみた太陽は青く見える　　ロ. 屈[illegible]

イ. 海からみた太陽は青く見え[illegible]吸収

c. イ. 海からみた太陽は[illegible]く見え[illegible]折

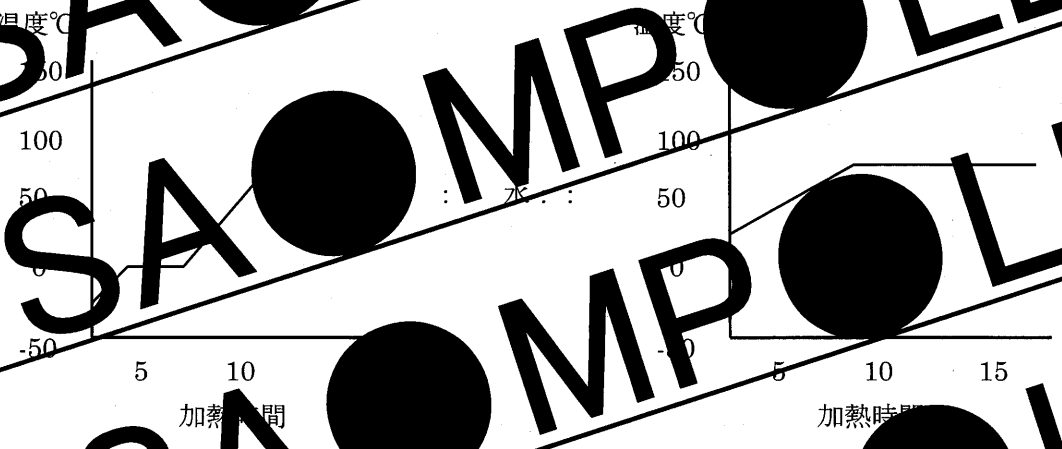
d. イ. 海からみた太陽は赤く見える[illegible]吸収

文に見られているように、航海に[illegible]体観測が重要でした。対応関係を参考に、問題に答えよ。

春[illegible]座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、しし座のデネボラ
夏[illegible]ベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブ
冬[illegible]のプロキオン、オリオン座のベテルギウス

a. おおいぬ座のシリウス
b. さそり[illegible]レス
c. おう[illegible]バラン
d. ゆう[illegible]ノープス

34. 物質に加熱[illegible]こと[illegible]古くから行われている。以下の対応関係を完成させよ。



[illegible]アンモニア
[illegible]水銀
[illegible]アセトン
d. エタノール

[illegible]文において、子午線に関して論じ[illegible]が、経度がおよそ[illegible]となるのは、下図においてどこであると考えられるか。

c. 古代の航海にあたっては、沿岸部を航[illegible]ため、[illegible]引きを把握することが極めて重要であった[illegible]主[illegible]他の天体の潮汐力により、天体の表面などが上下する現象であ[illegible]太陽[illegible]以下のような位置関係にあるとき、それに相当すると[illegible]られるか。

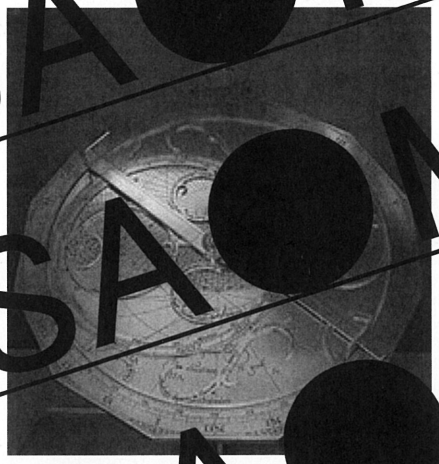
d. 若潮

の設計においてはバランスが重要[illegible]図においては、2[illegible]のおもりが釣り合っており、Aから支点までの長さとBか[illegible]の長さの比が2：1である。xの値を求めよ。

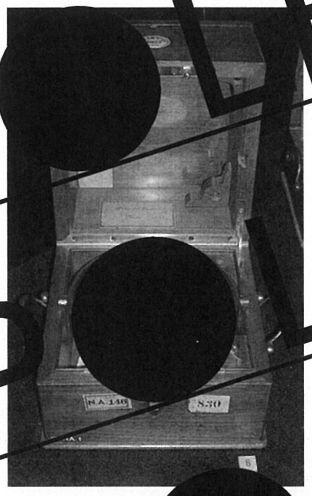
40g [illegible]g (160g)

38. 本文には大航海時代の天体観測器具が登場してい[illegible]ずれも本文に登場するものであるが、セクスタント（[illegible]分儀）はどれだろうか。

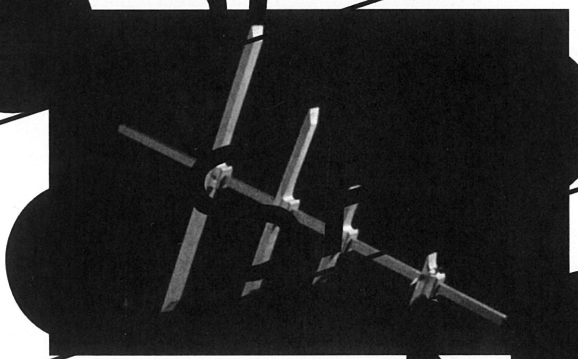
a.



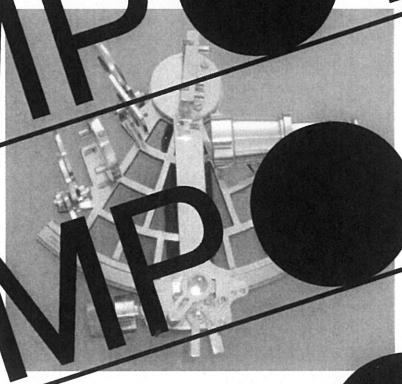
b.



[illegible]

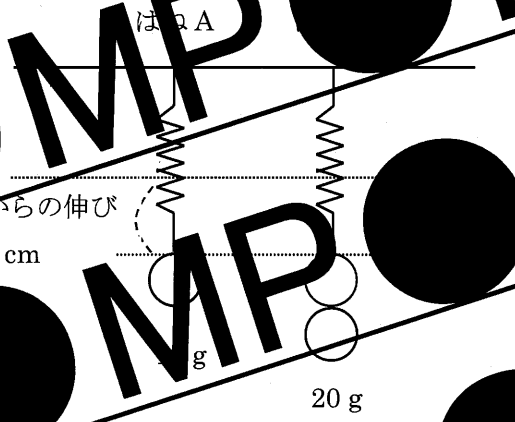


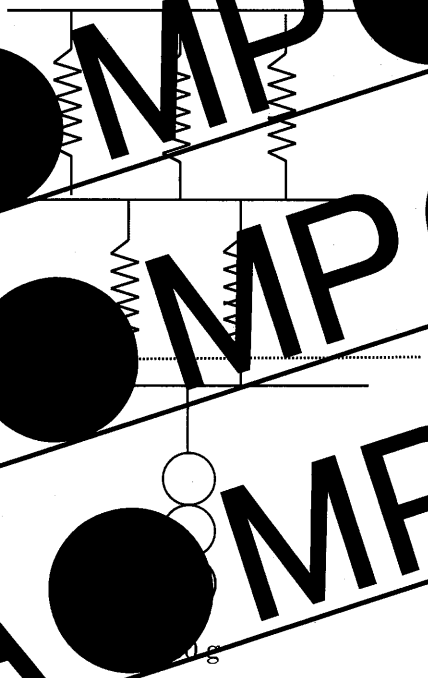
d.



http://icu.bucho.net

[illegible]世紀のイギリスにおいては、物理[illegible]ト・フックが、ばねの動きの基本原理（ばねの伸びと荷重は正比例する）を発[illegible]ック法則と呼ばれるようになった。また、ばねの伸び方は、[illegible]ねの種類や強さ[illegible]も大きく異なる。下図のばね[illegible]は、[illegible]違う種類のおもりを付けているが、2cm ずつ伸びている。さて、[illegible]ねを[illegible]の図のように組み合わせ、30g のおもりを付けた場合、[illegible]の位置は[illegible]伸び[illegible]なるか。なおおもり以外の重さを[illegible]とにする。





[illegible]物に関連して、以下の対応関係を
バッタ：モズ：タカ：
a. イワシ：カツ[illegible]：カ[illegible]
b. [illegible]フ：シジュウ
c. [illegible]ギ：ワシ
d. [illegible]チ：ペンギン

SAMPLE